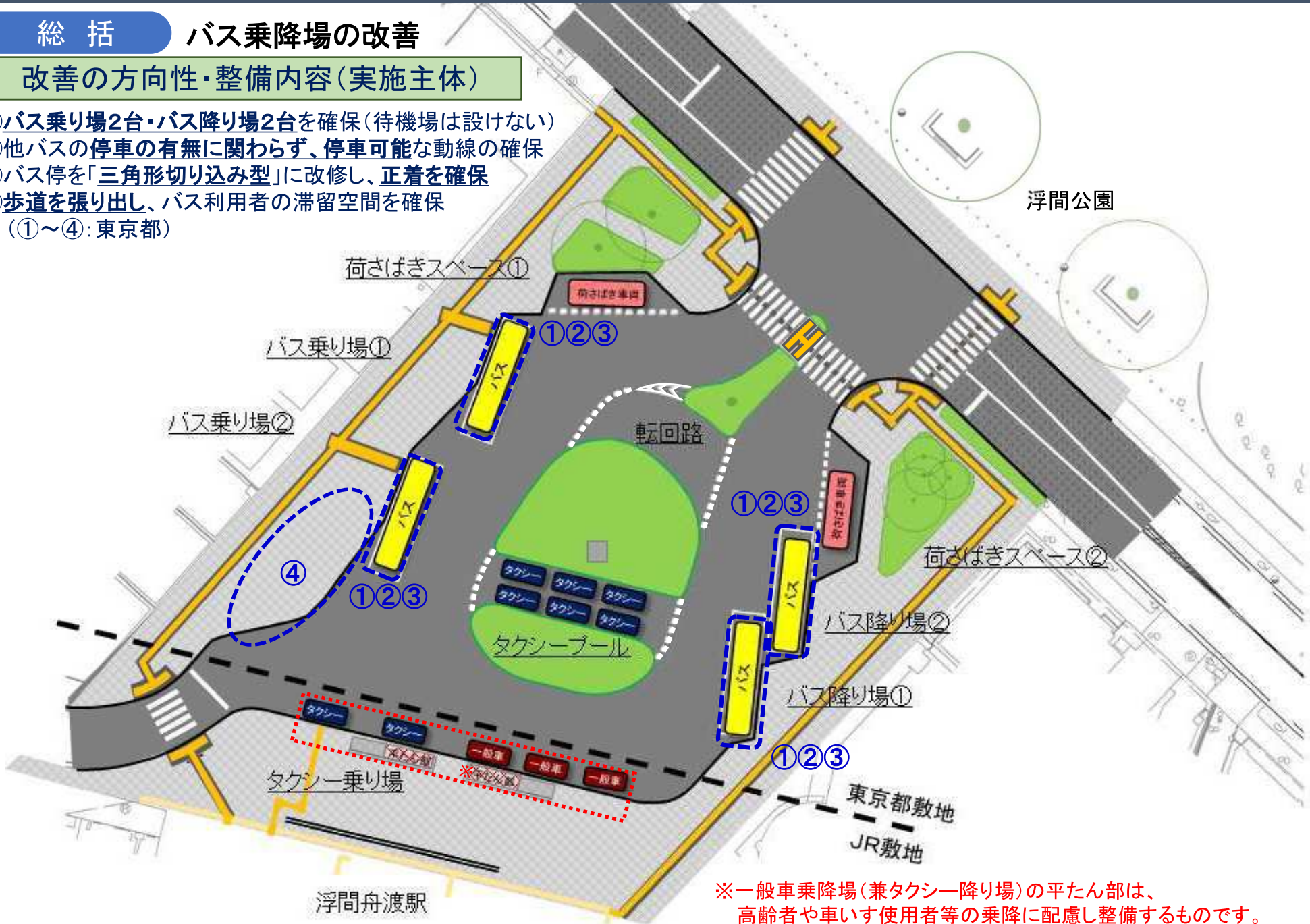


# 浮間舟渡駅駅前広場におけるバリアフリー化検討 整備方針

総括 バス乗降場の改善

改善の方向性・整備内容(実施主体)

- ①バス乗り場2台・バス降り場2台を確保(待機場は設けない)
  - ②他バスの停車の有無に関わらず、停車可能な動線の確保
  - ③バス停を「三角形切り込み型」に改修し、正着を確保
  - ④歩道を張り出し、バス利用者の滞留空間を確保
- (①～④:東京都)



※一般車乗降場(兼タクシー降り場)の平坦部は、高齢者や車いす使用者等の乗降に配慮し整備するものです。

総括

タクシー乗降場の改善

改善の方向性・整備内容(実施主体)

- ①広場中央部にタクシープールの設置(6台分)を検討  
(東京都)
- ②-1 横乗り型UDタクシーの将来的な普及なども踏まえた、タクシー乗降場(降り場は一般車乗降場と兼用)の整備(JR東日本)
- ②-2 タクシー乗降場の歩車道境界の段差を2cmに改修(JR東日本)
- ③乗車2台・降車3台を確保し、車いす使用者の乗降に配慮(JR東日本)



※一般車乗降場(兼タクシー降り場)の平たん部は、高齢者や車いす使用者等の乗降に配慮し整備するものです。



総括 一般車乗降場の確保

改善の方向性・整備内容(実施主体)

- ①新たに乗降場を設置※タクシー降り場と兼用(JR東日本)
- ②-1 違法駐車の原因となる余分な道路部を歩道化(東京都)
- ②-2 看板等で隣接する板橋区道の時間制限駐車区間(パーキングチケット)への誘導を検討(東京都)



※一般車乗降場(兼タクシー降り場)の平坦部は、高齢者や車いす使用者等の乗降に配慮し整備するものです。



総括 荷さばきスペースの確保

改善の方向性・整備内容(実施主体)

- ①-1 広場内での荷さばきスペース(2台)の設置を検討  
(東京都)
- ①-2 板橋区道の時間制限付駐車区間の一部について  
荷さばきスペースへの活用を検討(調整主体:東京都)



※一般車乗降場(兼タクシー降り場)の平坦部は、高齢者や車いす使用者等の乗降に配慮し整備するものです。

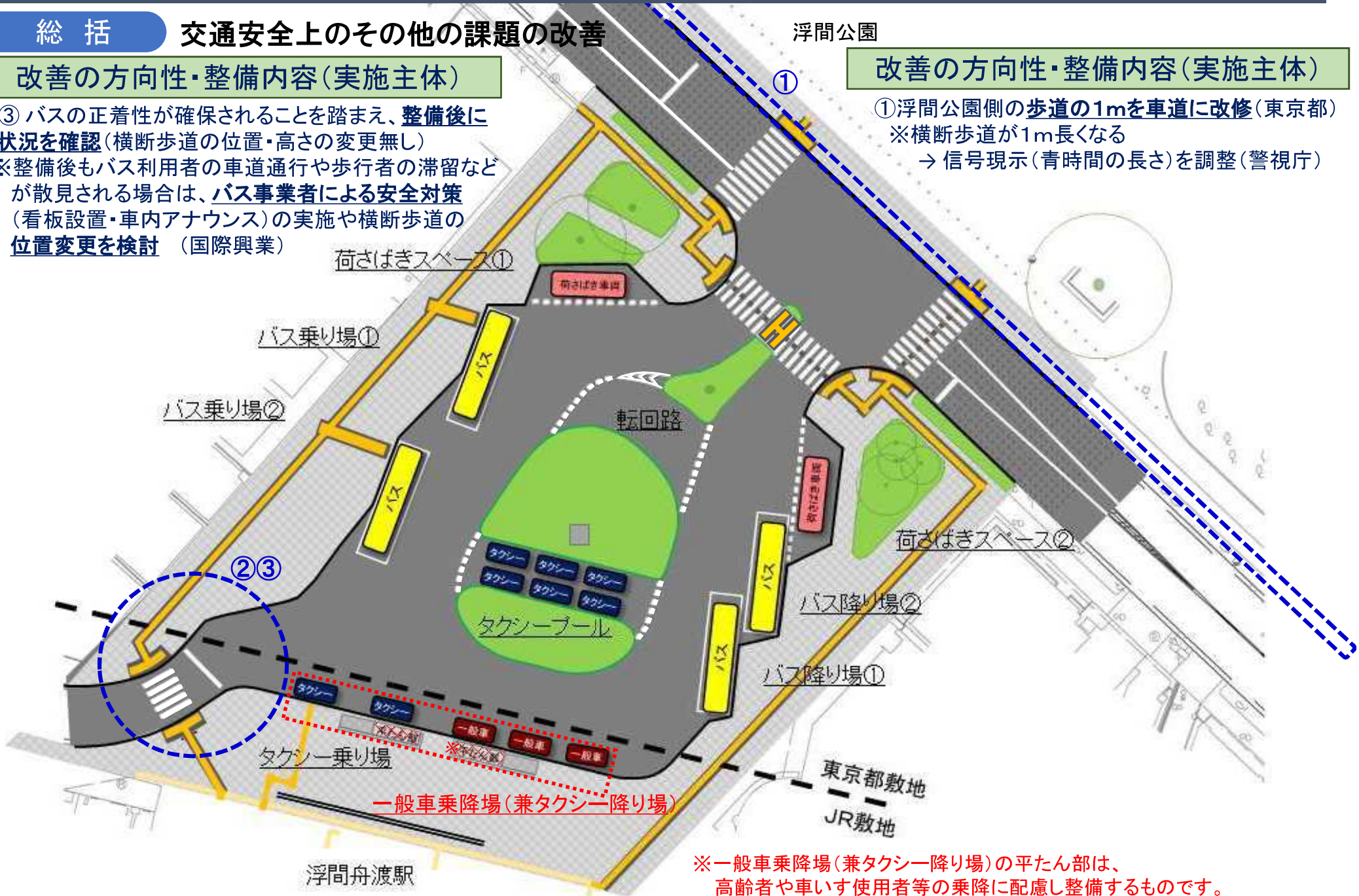
総括 交通安全上のその他の課題の改善

改善の方向性・整備内容(実施主体)

- ②③ バスの正着性が確保されることを踏まえ、**整備後に状況を確認**(横断歩道の位置・高さの変更無し)  
 ※整備後もバス利用者の車道通行や歩行者の滞留などが散見される場合は、**バス事業者による安全対策**(看板設置・車内アナウンス)の実施や横断歩道の**位置変更を検討**(国際興業)

改善の方向性・整備内容(実施主体)

- ① 浮間公園側の歩道の1mを車道に改修(東京都)  
 ※横断歩道が1m長くなる  
 → 信号現示(青時間の長さ)を調整(警視庁)



※一般車乗降場(兼タクシー降り場)の平坦部は、高齢者や車いす使用者等の乗降に配慮し整備するものです。



ロータリー内の整備のうち、タクシー乗降場(兼一般車乗降場)に関する内容を先行して検討していきます

## 東京2020大会開催時(予定)



整備  
イメージ

## 東京2020大会開催後(予定)



整備 の考え方	タクシー乗降場の段差解消及びタクシープールの整備を行う。		横断歩道部の段差解消や、正着性の高いバス乗降場及び交通結節機能を充足させた整備を行う。	
①	車止めの改修	J R	—	
②	横断歩道部の段差・勾配解消(一部)	J R	横断歩道部の段差・勾配解消	都
③	カラーアスファルト舗装の整備(一部)	J R	バス正着性向上の整備と併せたカラーアスファルト舗装の整備	都
④	タクシー乗降場(兼一般車乗降場)の段差解消	J R	—	
⑤	誘導用ブロックの敷設(一部仮設)	都、J R	高木・植栽移設と併せた誘導用ブロックの敷設	都
⑥	—	警視庁	バリアフリー対応型信号機・エスコートゾーンの整備	警視庁
他	タクシー乗降場の整備と併せたタクシープールの整備	都	ロータリーの改修(三角形切り込み型バス乗降場等の整備) 浮間公園前都道の車道幅員構成の改善	都

整備  
内容  
(特定事業)



JR浮間舟渡駅駅前広場バリアフリー化検討 整備後イメージパース



※設計段階におけるイメージのため、実際のものとは異なる可能性があります